

1号店初日600万円超

「フリーズインター」「フリーズマート」

サンエー・インターナショナルの子会社フリーズインターナショナルの新業態「フリーズマート」が好スタートした。6日、ラゾーナ川崎に出店した1号店(店舗面積約140平方メートル)は初日売りの上げが626万円と予算の2倍以上となった。「フリーズショップ」のブランド力、販促、前日のTGC(東京ガールズコレクション)

でデビューショーなど重層的な取り組みが奏功した。9月には2店、11月に3店を出店する。

8月発売の『Vivi』では協業企画したチエックシャツをモデルの長谷川潤さんが着用、同時にオープン告知を行った。ママ&キッズファッション誌『SAKURA』では俳優でプロサッカークラブの真木蔵人の夫人で自身もモデルの真

木明子さんとマザーバッグを共同企画。真木さんのブログでは制作の進行が紹介され、雑誌の発売時には問い合わせが急増した。前日のTGCではショーに長谷川さんが登場し、ターゲットである、旬でミイハーで米西海岸が好きな女の子にアピールした。同店はフリーズショップからの業態転換で、改装中もスタイリングカタログを仮開い

の前で配布したり、顧客へDMも発送した。

こうした準備が当日の売りに結びついた。150枚用意した長谷川さんとの協業シャツはほぼ完売。真木さんのマザーバッグは完売した。TGCから直接来たお客は少ないとみるが、狙い通りのミイハーな若い独身女性、ヤングママが来店した。

今後、商品を軸に完成度を高める。有力セレクトショップの6割程度の価格で、コンセプトに沿った商品を提供する。さらにタイアップ広告などの認知向上や消費者との接点を多く持ち、成長を図る。9月12日には自由が丘、18日にはイオンモール堺北花田プラウ、11月に3店の出店が決定。状況によっては来春の出店が増えそうだ。